

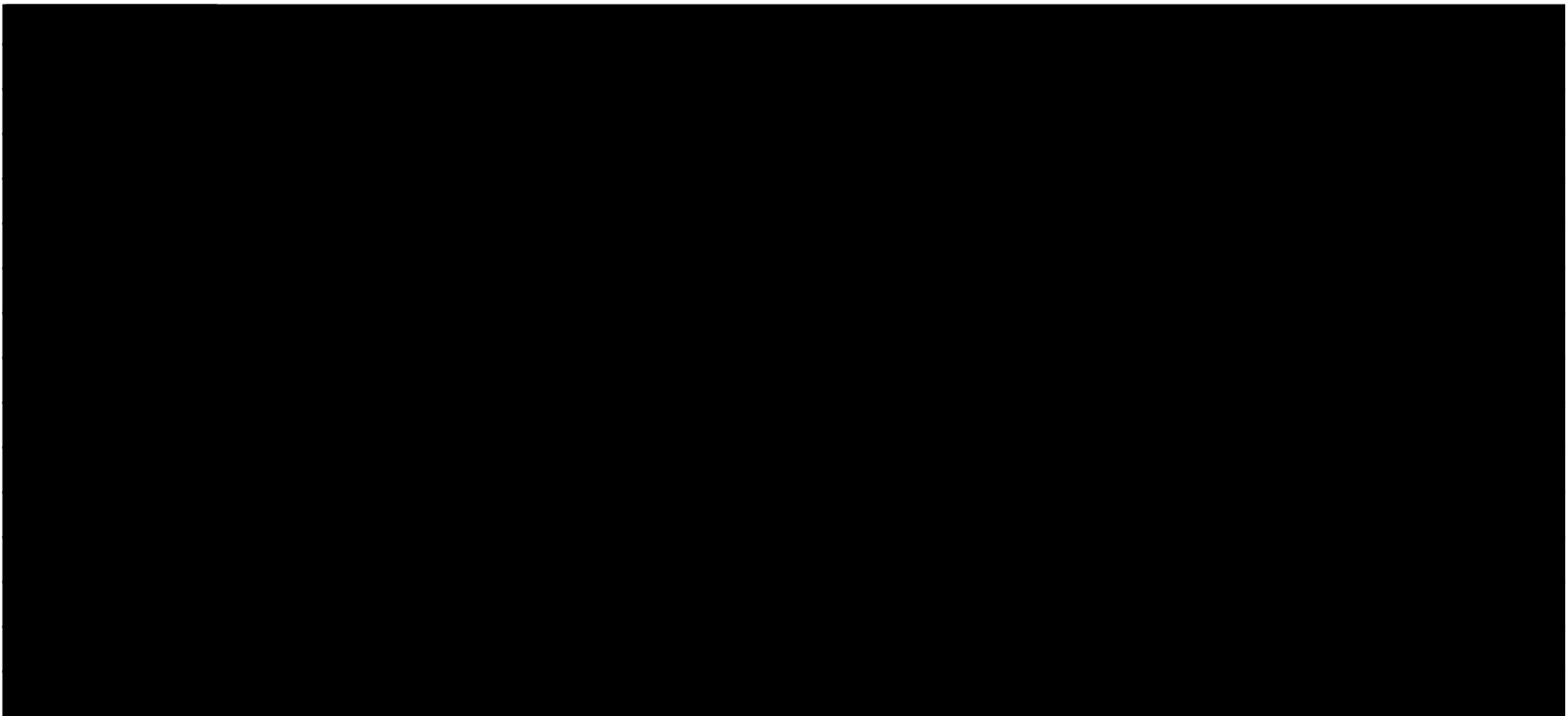
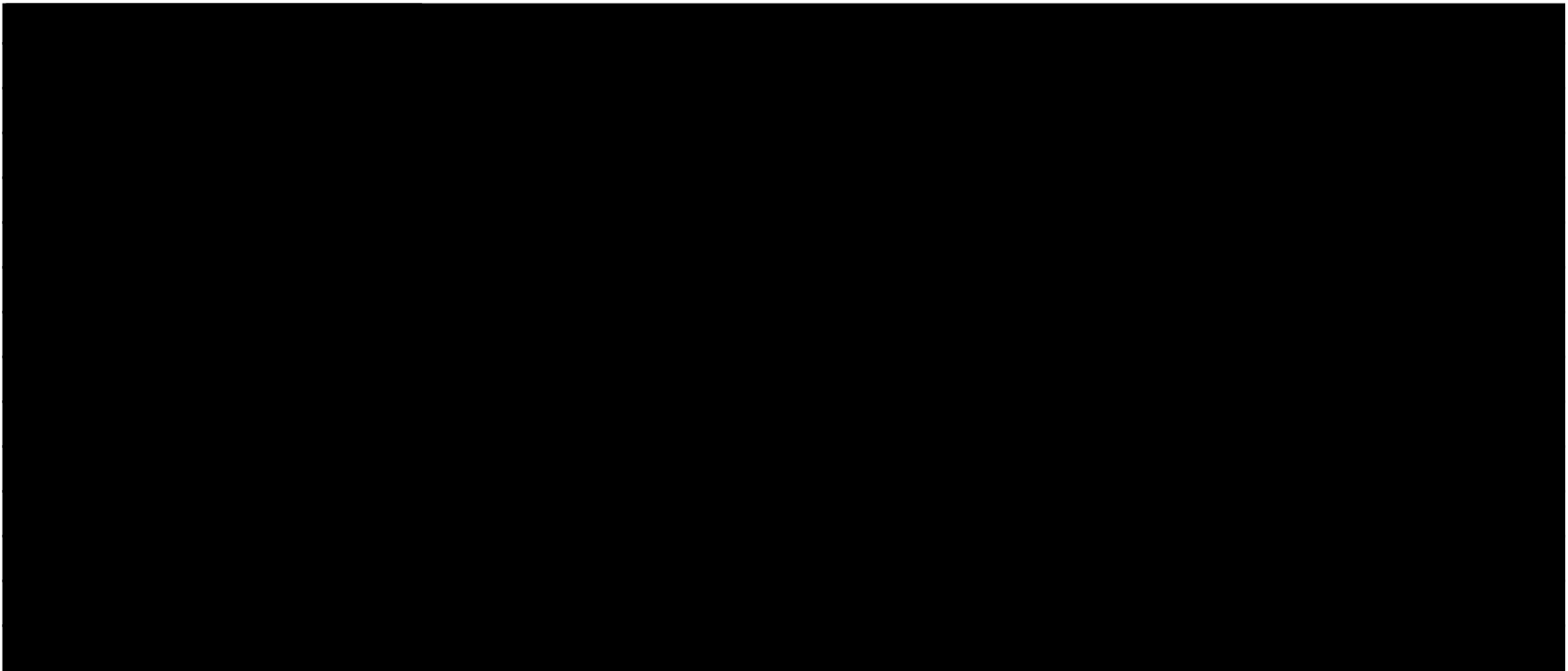
2026年度大学院博士後期課程入学試験問題

研 究 科 名	科 目 名
教育学研究科 教育学専攻	英 語 (No. 1)

博士後期課程における自身の研究テーマを踏まえた上で、次の2つの【問題】から1つを選択して、設問に回答しなさい。

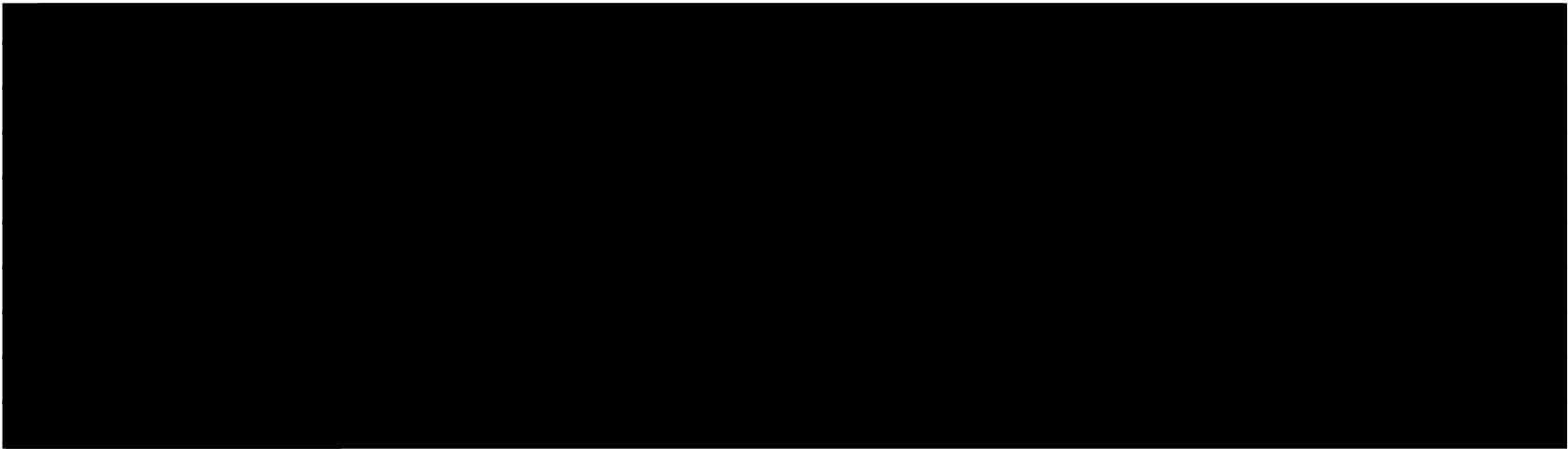
【問題 1】

次の英文を読み、その内容を踏まえて以下の設問に回答しなさい。



2026年度大学院博士後期課程入学試験問題

研 究 科 名	科 目 名
教育学研究科 教育学専攻	英 語 (No. 2)



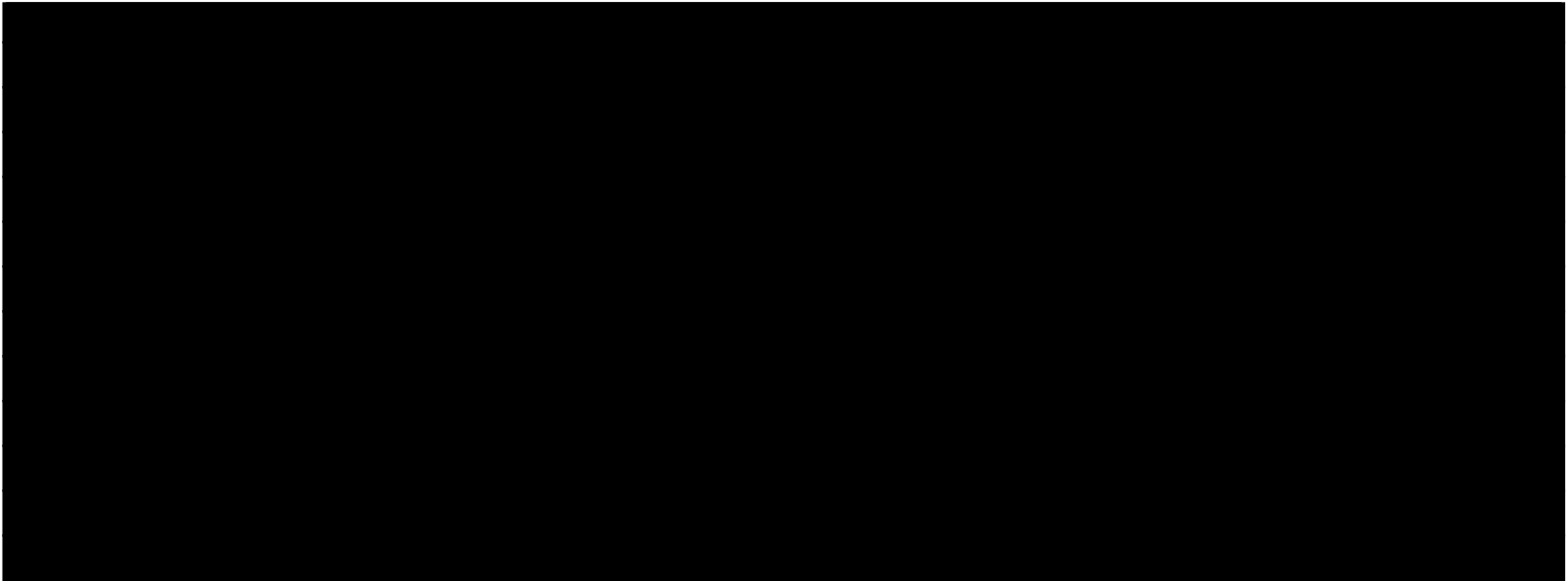
- (注) improvisation 即興 mitigate 軽減する pentatonic 五音音階の
monophonic 単旋律の admonish 咎める
- 設問 1－1：この授業実践で ICT を活用した理由、及び、ICT を活用する上でどのような工夫がなされたのかについて、説明しなさい。
- 設問 1－2：生徒たちの音楽制作の様子について、簡単に説明しなさい。
- 設問 1－3：この授業実践を通して得られた知見について説明しなさい。
- (出典) Mitsuru Imanari & Noroko Tokie(2024) The Role of Trial and Error in Creative Music Making with ICT, Proceedings of the International Society for Music Education 36th World Conference on Music Education, pp.93-100.
(https://researchmap.jp/akaike_miki/published_papers/47302555/attachment_file.pdf)
ただし、小学校の呼称について改変した。

2026年度大学院博士後期課程入学試験問題

研 究 科 名	科 目 名
教育学研究科 教育学専攻	英 語 (No. 3)

【問題 2】

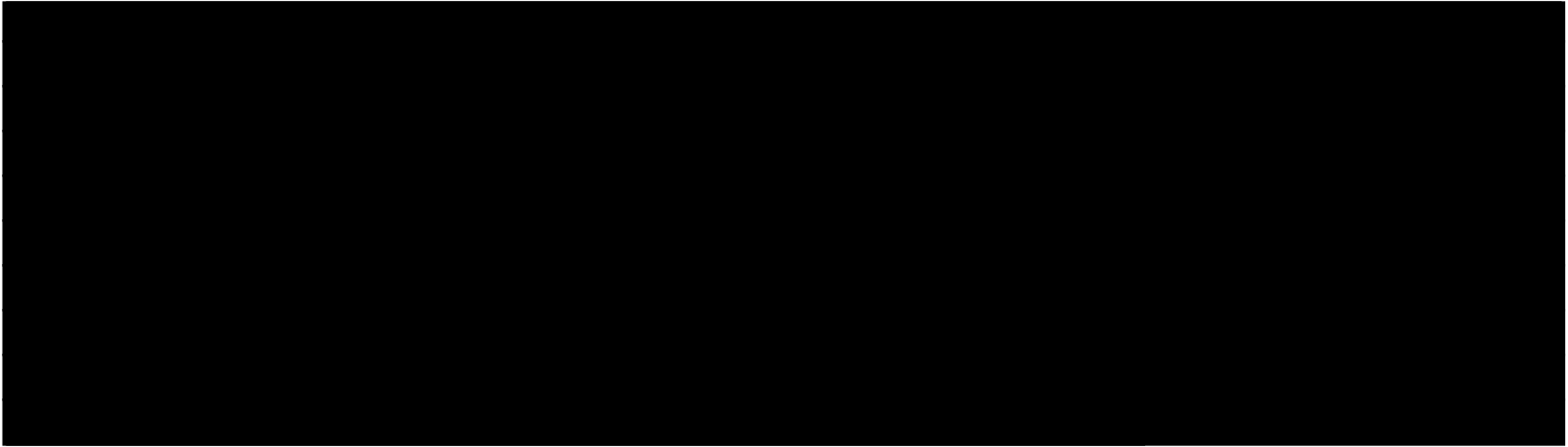
2－1 次の英文を読み、その内容を踏まえて以下の設問に回答しなさい。



(出典) Jones, A. J. (1951). *Principles of guidance and pupil personnel work* (4th ed.). New York, Toronto, & London: McGraw-Hill Book Company, p. 71.

設問：下線部を日本語に翻訳しなさい。また、上記の文章には、近代以後の教育が目指している価値が描かれている。「近代以後の教育が目指している価値」について説明しなさい。

2－2 次の英文を読み、その内容を踏まえて以下の設問に回答しなさい。



(出典) Kauchak, D. P., & Eggen, P. D. (1998). *Learning and teaching: Research-based methods* (3rd ed.). Needham Heights, MA: Allyn & Bacon, p. 266.

設問：下線部を日本語に翻訳した上で、"throwing the baby out with the bathwater"は、ここではどのようなことを意味すると推察されるか、考察しなさい。

解答または解答例：

Sample Answer(s) or Outline:

- 問題 1 - 1 ：記載なし
- 問題 1 - 2 ：記載なし
- 問題 1 - 3 ：記載なし
- 問題 2 - 1 ：記載なし
- 問題 2 - 2 ：記載なし

出題意図：

purpose of Questions：

問題 1 - 1 ：本問題は、本文で示されている内容や概念について、問いに即して整理し、他者に分かる形で説明できるかを評価することを目的とする。内容理解の正確さに加え、説明の論理性や明瞭さを重視する。

問題 1 - 2 ：本問題は、学術的英文を正確に理解し、その意味内容を日本語として適切に表現する力を評価することを目的とする。単なる逐語訳や語句の置き換えではなく、専門的な文脈を踏まえた意味理解と、日本語としての妥当な再構成ができているかを重視する。

問題 1 - 3 ：本問題は、本文を踏まえた上で、自身の見解を論理的かつ根拠に基づいて展開できるかを評価することを目的とする。単なる感想や一般論ではなく、本文理解に立脚した考察を通して、研究者として議論を構築する力を問う。

問題 2 - 1 ：本問題は、本文で示されている内容や概念について、問いに即して整理し、他者に分かる形で説明できるかを評価することを目的とする。内容理解の正確さに加え、説明の論理性や明瞭さを重視する。

問題 2 - 2 ：本問題は、本文を踏まえた上で、自身の見解を論理的かつ根拠に基づいて展開できるかを評価することを目的とする。単なる感想や一般論ではなく、本文理解に立脚した考察を通して、研究者として議論を構築する力を問う。

採点のポイント

問題 1 - 1：

- 妥当性：問われている内容を正確に捉え、過不足なく適切に説明している。
- 論理性：説明の構成と展開が明確で、一貫した論理が保たれている。
- 明瞭性：用語や表現が整理され、読み手にとって非常に分かりやすい。

問題 1 - 2：

英語翻訳：原文の意味を正確に理解し、学術的に自然で完成度の高い日本語に訳している。

問題 1 - 3：

- 妥当性：本文および問いを踏まえ、考察の方向と内容が適切である。
- 論理性：主張・根拠・展開の関係が明確で、一貫した論理構成になっている。
- 説得性：根拠や視点が適切で、読み手を納得させる説得力がある。

問題 2：英語の翻訳部分の採点は以下の基準で行われた。

評価	A	B	C	D	E
----	---	---	---	---	---

英語翻訳	原文の意味を正確に理解し、学術的に自然で完成度の高い日本語に訳している。	原文の意味を概ね正確に理解し、学術的に妥当な日本語に訳している。	大意は把握できているが、訳語や日本語表現に不十分さが見られる。	意味理解に不安定さがあり、訳文に不正確または不自然な箇所が多い。	原文の意味理解に重大な問題があり、翻訳として成立していない。
------	--------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------

問題 2 - 1：採点は以下の基準で行われた。

評価観点\評価	A	B	C	D	E
妥当性	問われている内容を正確に捉え、過不足なく適切に説明している。	問いの理解は適切で、説明内容も概ね妥当である。	内容理解は見られるが、要点の欠落や不正確さがある。	問いの理解に不安定さがあり、説明内容に誤りが見られる。	問いを正しく捉えておらず、説明として成立していない。
論理性	説明の構成と展開が明確で、一貫した論理が保たれている。	論理の流れは概ね理解でき、一定の一貫性がある。	論理のつながりが弱く、説明が断片的である。	論理の飛躍や混乱が見られ、筋道が不明瞭である。	論理的な展開がほとんど見られない。
明瞭性	用語や表現が整理され、読み手にとって非常に分かりやすい。	表現は概ね明瞭で、理解に大きな支障はない。	表現や構成に分かりにくさがあり、理解に手間がかかる。	表現が不明瞭で、説明内容を把握しにくい。	表現が著しく不明瞭で、説明として読めない。

問題 2 - 2：採点は以下の基準で行われた。

評価観点\評価	A	B	C	D	E
妥当性	本文および問いを踏まえ、考察の方向と内容が適切である。	本文・問いに基づく考察であり、概ね妥当である。	考察の意図は理解できるが、本文や問いとの対応が弱い。	本文や問いの理解に不安定さがあり、考察の方向が不適切である。	本文・問いと整合しない考察であり、妥当性が認められない。
論理性	主張・根拠・展開の関係が明確で、一貫した論理構成になっている。	論理の流れは概ね明確で、一定の一貫性がある。	論理のつながりが弱く、主張や根拠が十分に整理されていない。	論理の飛躍や混乱が見られ、議論の筋道が不明瞭である。	論理的な展開がほとんど見られない。
説得性	根拠や視点が適切で、読み手を納得させる説得力がある。	一定の根拠や視点が示されており、概ね納得可能である。	自分の見解は示しているが、根拠や説得力が弱い。	主張はあるが、根拠が乏しく説得力に欠ける。	根拠に基づく主張が見られず、説得性が認められない。